

トヨタにおける電池研究の紹介

齋藤俊哉

トヨタ自動車(株) 電池研究部

近年、石油資源の将来的な枯渇および環境負荷低減への対応を目的として、エネルギー生産から、工業分野でのエネルギー使用、一般に用いられるさまざまな製品まで省エネルギー・低環境負荷の観点で取り組まれている。

トヨタ自動車においても、自動車の石油使用量低減・環境負荷低減の観点から、1997年の世界初のハイブリッドカー「プリウス」の市場導入を皮切りに、より幅広い車種へのHVの展開、燃料効率の向上、またFCやEVなどのHV以外の環境技術に取り組んでいる。

今回の発表では、トヨタの環境技術に対する取り組みの概略を紹介すると共に、環境技術のキーとなる電池においてトヨタが積極的に取り組んでいる研究テーマからトピックスをいくつか報告する。